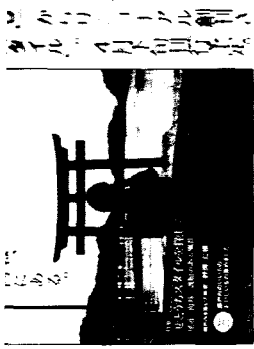


の概況、広告媒体と
広告費が対前年比で
「日本の広告費」と
にも取られるのでは？
状況だ。電子雑誌の台頭
びくとも紙の雑誌はアテ



もお目にかかれないう
誇っていた。4月からは
改め、再出発している。
「カルメディアで〈地域〉
巡して東京都内で開かれ
席上、出席した『せとう
行人・磯田周佐さんの
があった。前述した地元
している磯田さんは「メ
ちにとってあくまで手段
ではありません」と語つ
による情報発信を通じて
し、外部からの注目や観
はリターンで戻ってくる
で地域活性化を図る。そ
の運営にとつても必要な
と。

来のように雑誌がそれ自
で成り立つモデルではな
そらく今後の雑誌が生き
は、こうしたコミュニテ
めの手段（ツール）とし
り、それはローカルエリ
会のさまざまなところで
役割ではないだろうか。
う・ライター。ブログは

cup.com/taroimo/

media

4 月12日、衆議院で労働委
員会が安倍首相は森友
学園問題で財務省の交渉記
録復元を公表の指示を迫られた。窮地
の首相を前に与党は採決を強行した。
今村雅弘復興大臣の「自己責任」発言

たかこれほどのおこりを許したメテ
アの存在は稀くない。とりわけ既存
のトランスコミのそれは重大だ。その
ことを証明しているのが、今村大臣の
発言を引き出したのが、フリーの記者
だったという事実だ。記者会見の場
にいた大手の記者たちは何をしていたの
か。何を尋ねていたのか。何を問詰
めていたのか。

大手の記者たちの大半は記者クラブ
に属し、情報提供の面で優遇されてい
る。そのことに疑問を感じている記者
は年々、世代替わりのたびに減少して
いるように見える。当コラムでは繰り
返し、問題視してきた。事態が改善さ
れているとはどうも言いえない。

折しも『週刊文春』4月13日号のコ
ラム「新聞不信」が「なぜ発表ネタば
かり書くのか」と題して、全国紙各紙
を批判している。事例にされたのは文
部科学省の天下りあつせん問題の報道
だ。文科省の発表を待つて複数の紙面
を埋めたふがいなきを、同コラムは叱
つた。全く同感だ。

文科省からの天下りについては、多
少でも取材をすれば容易に把握でき
はずだ。同省は多数の許認可権を掌握
している。しかも熟年の大学の理事な
どを東京に呼び出し、30代そこそこの
官僚が頭ごなしに指示をしている。そ
うした様子を垣間見て新たな歪みが生
じるとい想像力が、記者たちには欠
けていたのではないか。私学だけでは
ない。国立大学の独立行政法人化によ
つて、理事への天下り枠が急増し、文
科省は「わが世の春」を満喫してきた。
このことを指摘し注目していたのか？

のはやはり冷めていない時期のこと
だ。神池泰典氏の証人喚問も「首相を
侮辱した」との口実だった。こますり
的行動に歯止めが利いていない。安
倍一強体制によるおこりと権力者への
すりよりは、ここまで及んでいる。

改善が程遠い 記者クラブの弊害 もはや“廃止”の時？

メディア
ウォッチング

高嶋伸欣

それだけではなく、学校施設の整備基
準（指針）も同省が作成している。そ
の指針作成の際の実務幹部が建築設計
会社に再就職している。同社はHPで、
全国の大学から幼稚園までの建築実績
を誇示している。それが今では、東京
・杉並区長による小中一貫校校舎建設
問題で、指針違反の工事手順を問われ
ている。だが記者の関心は薄い。

取材せずに、発表ネタの報道が「習
性」となっている記者たちは、ネタ
の提供元を「付度」していないか、疑
われる。独自調査やフリー記者のよう
な鋭い質問を、無意識の内に封印をし
ているのであれば、ことは深刻だ。

菅義偉官房長官は、辺野古基地建設
問題や国会審議で、岸野文相や小細
工を平然とやつてのけている。改めて、
会見からフリー記者の排除を画策しは
しないか。その際など、大手記者たち
の対応次第では、クラブ廃止を論じた
い。

たかしま のぶよし・琉球大学名誉教授